

農業工学でできそうなセクター間の連携について

農業開発を行う上で、それぞれの分野が別々に開発を行うより、分野間で連携して開発を行う方が効率的で、かつ融合的な問題にも取り組むことができます。今回は、分野間の連携について、民間企業と官庁の2つの視点から検討したいと思います。

まず民間企業の場合、農業工学の知識だけを用いれば、農業に必要な水などの設備は作ることができますが、実際の栽培や経済的な面は欠如してしまいます。そこで、農業の栽培学や経済学などの様々な分野と協力することにより、農業に必要な前準備から栽培、出荷まですべてを見据えた農業開発をすることが可能になります。

次に官庁の場合、農業開発を農林水産省の農業工学の専門家だけがやるのではなく、他の専門や経済産業省、国土交通省といった他の官庁の専門家と協力することにより、農業の技術的な面による開発だけにとどまらず、土地や経済的な問題まで踏まえた農業開発ができると思います。

このように、1つの専門家だけでなく複数の専門家が協力すれば、複合的な問題も解決でき、より高度な開発を行えるでしょう。